

平成29年度事業実施状況(平成30.1.31 現在)

取組	実施内容	実施期間	参加者数 ()は外国人数	国・地域	連携等			
取組1	テーマでつながる日本語クラス	3期実施 6/9-6/17、10/24-11/7、1/17-1/31	140人(70人)	アメリカ、イギリス、インドネシア、ウガンダ、エクアドル、オーストラリア、オランダ、韓国、スリランカ、タイ、台湾、中国、ドイツ、日本、パキスタン、フィリピン、ブラジル、ベトナム、マレーシア、メキシコ、モロッコ、モンゴル	NPO法人日本防災士会千葉県北部支部 千葉市社会福祉協議会若葉区事務所			
	若葉区にほんご会話クラス	1期実施 5/24-7/12						
	初級クラス	1期実施 1/11-3/15						
	読み書きクラス	1期実施 10/18-11/15						
	日本語活動ペア実践講座	8期実施 5/18、8/23、7/10 8/30、9/26、10/11、12/11、1/23						
取組2	日本語交流員 新基本講座	基礎編4期実施 5/9-5/23、8/9-9/22、11/2-11/16、2/17-3/3 実践編2期実施 6/2-6/19、11/30-12/14	78人(4人)	韓国、中国、日本、マレーシア				
	日本語交流員 ステップアップ講座	1期実施 7/11-12/5						
	日本語文法講座	1期実施 6/26-7/10						
	東京五輪で外国人と日本語で話そう	1期実施 1/16-1/23						
取組3	多文化理解セミナー	7期実施 6/30、10/2、10/4、10/28、11/20、11/30、12/4	281人(84人)	アメリカ、アフガニスタン、イラン、インドネシア、エクアドル、オーストラリア、韓国、キューバ、シリア、シンガポール、スリランカ、タイ、台湾、タンザニア、中国、ドイツ、日本、パキスタン、バングラデシュ、フィリピン、フランス、ベトナム、マレーシア、ミャンマー、メキシコ、モロッコ、モンゴル	千葉市子育て支援館 千葉市社会福祉協議会若葉区事務所 NPO法人多文化フリースクールちば 福浜日本語ボランティア センシティ土曜にほんご学校 千葉市介護保険管理課			
	防災訓練参加	2箇所実施 9/3				3人(2人)	イギリス、中国、日本	美浜区役所地域振興課、若葉区役所地域振興課、千城台北小学校避難所訓練運営委員会、福浜中学校避難所運営委員会
	企業向けセミナー	10/19				16名	日本	千葉商工会議所
取組4	多文化協働ネットワーク会議	11/29	26人(6人)	日本、イギリス、ガボン、パキスタン、フィリピン、ベトナム、ミャンマー	千葉県千葉中央警察署、千葉県千葉西警察署、NPO法人日本防災士会千葉県北部支部、千葉市(国際交流課、幼保連當課、保育所、中央保健福祉センター高齢障害支援課、中央区役所地域振興課、花見川区役所こども家庭課、花見川区役所市民総合窓口課、稲毛区役所市民総合窓口課、若葉保健福祉センター高齢障害支援課、若葉区役所市民総合窓口課、稲区役所菅田市民センター、緑保健福祉センター健康課、美浜保健福祉センター健康課、美浜区役所市民総合窓口課)			

あなたも仲間に

千葉市に住む
外国の人と

日本語で交流!



インターネットで活動を紹介しています

ちば多文化協働プロジェクト 検索



https://www.facebook.com/chibatabunka26

投稿 取組の予告、報告、目的・内容・参加者の声

動画 スピーチ・ミニドラマ・防犯パトロールの様子など

写真 クラスや講座の様子

取組の予定は協会窓口でもご案内しています。

参加、見学、大歓迎！下記までお問い合わせください。



公益財団法人千葉市国際交流協会 4月に移転します

平成30年3月末まで

〒260-0013 千葉市中央区中央2-5-1

千葉中央ツインビル2号館8階

TEL 043-202-3000

平成30年4月以降

〒260-0026

千葉市中央区千葉港2番1号

千葉中央コミュニティセンター2階

TEL 043-245-5750



ちば多文化協働プロジェクト お問い合わせ chibatabunka@ccia-chiba.or.jp

千葉市の外国人住民は約24,600人*、全市人口の2.5%を占め、駐在社員、家族、実習生、介護看護職など、さまざまな立場で社会を構成する一員となっています。(*H29.12現在)

多様な人々が共に生きる社会をめざすには、ひとりひとりの文化に耳を傾けあう対話が欠かせません。

でも「日本語で自己表現する自信がない…」
「外国人と話すきっかけがない…」という声も。これでいいでしょうか？

「ちば多文化協働プロジェクト」は、多様な市民の相互理解、および外国人市民の日本語習得を目的とする事業です。文化庁の委託を受け、千葉市国際交流協会が平成26年度から参加者と協働で発展させてきました。自分を表現したり他の人を理解したりしながら、地域のよりよい姿を共に描いていくことをめざしています。

あなたも参加してみませんか？
平成29年度の取組をご紹介します。

(公財) 千葉市国際交流協会

日本語クラス

このプロジェクトの日本語クラスは市民参加の対話型です。身近な話題で互いが話します。外国人市民にとっては、クラス活動が日本語習得の過程になり、日本人市民にとっては異なる価値観に触れたり、日本語を母語としない市民との、よりよいコミュニケーションのとり方を考えたりする機会となりました。

テーマでつながる日本語クラス

「防災」「お金」「結婚・恋愛」のテーマで、話す・聞く・読む・書く・調べる・つくるなどの活動をしました。クラスに参加した地域の方々と経験や意見を共有しながら、社会や生活について考えました。外国人参加者によるスピーチの動画やクラスで作ったものを公開しています。（見方は裏ページをご参照ください）

若葉区にほんご会話クラス

身近な出来事について話しながら、内容や気持ちにより正確に伝わるように、使える表現を増やしました。

初級クラス

日本語の基礎的な文の作り方を学びながら、身近な話題で話しました。単語を探して貯めていく習慣もつけました。

読み書きクラス

主に、会話はできるが、読み書きができないか苦手、という方を対象にしました。仮名を協働で学んだり、絵本を作って読み合ったりしました。

日本語活動ペア実践講座

普段は1対1で学習活動をしている日本語交流員と外国人参加者のペアが合同で話しました。伝わるよう工夫をしながら、対話を成立させました。

声を出す勇気をもらった。

日本で災害を経験していないが、本当に役に立つと思う。

日本語の勉強だけでなく、人生とかいろいろ学ぶことができた。

親しく楽しく自分の言いたいことや感想が発言できた。

話しながら勉強するのは楽しい。

スピーチでは国による違いを感じたが、みんなて話すと共通点がたくさんあった。

世の中、いろいろな人がいるのだと思った。



日本語交流員講座

千葉市国際交流協会には、外国の人と1対1で交流する日本語交流員の制度があります。交流員の役割は、ことばの力の差に配慮しながら外国人市民と日本語で話すことです。講座では活動に必要な知識やスキルを理論と実習で提供しました。交流員活動にご興味のある方は協会までお問い合わせください。

新基本講座

対話型日本語活動に必要な知識とコミュニケーションスキルを3回の「基礎編」で、具体的な活動の素材や進め方を3回の「実践編」で、学びました。

日本語交流員ステップアップ講座

主に交流員経験者同士で意見や経験を共有しながら、一部は外国人参加者と実際に対話活動を行ないながら、異なる切り口で具体的・実践的に日本語活動について考えました。

どうなってるの日本語文法講座

インタビュー動画の発話などを観察して、日本語の構造や文体、動詞の活用規則を考えました。ふだん母語として意識せずに使っている日本語を、外国語として日本語を学ぶ人の視点に立って見つめました。

東京オリンピック・パラリンピックで外国人と日本語で話そう

2020年を前に、外国語を使っておもてなしやボランティアをするための講座が増えています。でも、実は日本語のできる会話やサポートもたくさんあります。この講座では「やさしい日本語」コミュニケーションを学びました。

今まで、日本語を教える側と教わる側で分けてしまっていたことを反省。対等な人間関係を築くということを確認できてよかった。

日本語の間違いを直すのではなく、違いの理由を知ることでお互いを知れる。

普段、無意識に使っていることばを動詞の活用に注目して観察するのはおもしろい。

この講座を受けて、五輪⇒英語という考えががらりと変わった。

外国人のみならず、あらゆる人と対話する場合の基本姿勢を学んだ。



多文化理解セミナー

多様な言語・文化を背景に持つ市民が協働・交流を通じてお互いを理解するため、セミナーを実施しました。外国人市民と日本人市民が気軽に楽しく話を聴きあえる時間を多く設けました。

外国出身パパママによる絵本の読み聞かせと子育て交流

韓国、スリランカ、モロッコ、フィリピン、キューバなどの出身者による、多言語での絵本読み聞かせ。単語をいつしよに言ったり、手遊びを習ったりしながら子育てや生活の話題で交流しました。

いろいろな国のカレーをつくって食べよう！

タイ、バングラデシュ、ベトナム出身の方にカレーの作り方を教えてもらいながら交流。外国人市民の「得意」を活かして地域との接点がつくれました。

日本で働く外国人介護職員

介護の仕事をするために、ベトナム、フィリピン、インドネシアから来ている方たちが千葉市内外にも大勢います。話を聞き、交流しました。

スポーツで日本を開く！—日本人ってだれのこと？—

スポーツ界などいろいろな場面で外国につながる人々の存在が普通になりました。「日本人」とはだれのこと？「日本語」とはどの言葉のこと？ 多様な背景の人々が考えを伝え合いました。

日本語交流会

市内の外国人がスピーチやパフォーマンスで自己表現し、地域市民と交流しました。

身近に外国の方が増えてきたと感じていた。文化を理解しようとする自分もこどもも豊かな人生になると感じた。

こどもが楽しそうに聞いていたことに驚いた。

何もかも新鮮で、カレーを作りながら話して楽しかった。

他の活動（日本語活動）にも興味が高かった。

介護というときついイメージが強かったが、皆さんが今の生活は楽しいとおっしゃっていたのが印象的だった。

知らなかったことが多く、また、思い違いをしてきたことにも気づけた。

国籍にとらわれることの無意味さを今まで以上に感じた。

日本、日本語、日本人の定義には答えがない。私たち自身で定義を変えていく力があるのかもしれないと気づいた。

いろいろな考えを持つ人から違う立場の考えに触れたのが本当によかった。



緊張したが、みんな熱心に聞いてくれて嬉しかった。



一般の方と介護の場面ではなく日本の生活を話して、いろいろ勉強になった。



このテーマは大切だが、日本人にも外国人にも答えるのが難しい。



企業向けセミナー

外国人を雇用したい地域の企業向けに「外国人材活用のためのコミュニケーションセミナー」を実施しました。外国人社員が能力を發揮できる環境をつくるために、社員に必要な異文化理解の知識や伝わりやすいコミュニケーションのスキルを取り上げました。



地域活動参加促進



外国人市民も交えた防災のまちづくりは大切です。美浜区と若葉区の協力を得て、外国人市民が避難所開設訓練で簡易トイレづくりなどを体験しました。

活動に参加できて、とても役に立つ。

周りの人がやさしい日本語で話してくれた。

多文化協働ネットワーク会議

多文化社会の課題解決のため、地域の関係機関等が情報共有する会議体です。今回のテーマは情報提供の方法。情報が伝えられない外国人市民も対応職員も歯がゆい思いをします。会議では翻訳アプリを紹介。外国人市民と有用性について意見交換しました。

今までは、外国語が話せる職員に頼りがちだったが、今後は業務に活かせる。

外国人住民と積極的にコミュニケーションをとる意欲が重要。

日本語で自分のニーズを説明して日常生活を改善していくために役立つ。

